教育部 生涯教育課 士会連携研修のご案内

日本作業療法士協会 教育部生涯教育課士会連携研修班では、『協会の方針や最新の情勢等を対面で会員に伝える研修会』を企画・運営をしております。2021年度東海北陸作業療法学会を皮切りに、栃木県・徳島県・岐阜県と試行的に各都道府県士会と連携して開催をしてきました。

今後の開催地選定にあたり、2019年度にアンケート調査を実施した経緯もございますが、2025年度新生涯学修制度の開始、刻々と変化する私たち作業療法士を取り巻く情勢の変化も考慮し新たなテーマを設定しました（以下をご覧ください）。順次開催地選定を進めるべく対応しており、2026年度以降の開催地選定につきましては、事業担当者よりそれぞれご相談を差し上げます。

あわせて、2025年度内に開催受け入れ可能な都道府県士会がございましたら下記までご相談ください。（問い合わせ締め切り：2025年11月30日）

本件にかかるご相談・お問い合わせについては下記までお願いいたします。

（社）日本作業療法士協会 教育部 生涯教育課 士会連携研修班

メールアドレス ot-syougaiyouiku@jaot.or.jp

※件名に『士会連携研修』と記載してください。

～協会の方針や最新の情勢等を対面で会員に伝える研修会～

<開催テーマ>

1) 『現代社会における作業療法士のあるべき姿を示す「生涯学修制度」の理解』

近年、作業療法士は様々な分野に活躍の裾野を広げる一方、有資格者の質の担保も課題となる。2025年4月より始まる新たな生涯学修制度の概要とともに、今求められる作業療法士のあるべき姿をお伝えする。

2) 『様々な領域において求められる作業療法士と協会の取り組み』

近年、作業療法士は医療・福祉領域にとどまらず、司法領域、学校領域、産業領域、運転支援などでの実践や取り組みが増えている。各領域で作業療法士が何を求められているのか、協会はそれらをどう支援し、促進していくのかをお伝えする。

3) 『地域と社会に資する作業療法士の役割・働き方』

地域共生社会の重要性が謳われるなかで、作業療法士はそこに資するべく、どのような周囲からの期待を自覚し、実際にどのように動けばよいのか、協会の意向を具体的に示す。加えて、それが作業療法の将来にどのように繋がるのか、協会のビジョンを紹介する。